

地区・組織支援論

ナンバリング:N4-S2-K07

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

地域の健康課題を住民と協働して解決できるように、公衆衛生看護方法論の学修を基礎に、地区活動の中で、個別的な支援と集団・組織への支援を相互補完的に展開する進め方を学修する。地区の要援護者の把握と家庭訪問等による支援方法、地区での健康相談・健康教育の展開方法、そのフォローとしての当事者型組織の育成・支援、地区組織の育成と協働活動等、事例を通して学修する。
--

・教育成果(アウトカム)

健康課題をもちながら地域で生活する多様な人々の健康観、価値観や信条、生活を尊重した、健康の保持増進、疾病予防のための継続的支援の必要性を学ぶことで、あらゆる対象のQOL向上のための保健師の役割を理解する。また、住民主体の健康支援、地区組織への支援を学ぶことで、敬意をもち、地区について住民から学ぶ姿勢を理解し、コミュニティを中心とした協働・連携を考えることができる	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 地区活動の意義と必要性を説明できる。 2. 生活基盤としての地区／小地域の情報収集・アセスメントの視点を説明できる。 3. 地区で支援を要する対象者を把握する方法を説明できる。 4. 対象者、家族の状況から支援の必要性、継続性をアセスメントできる。 5. 対象者・家族が主体となって課題の解決行動をとる働きかけを考えることができる。 6. 対象者と家族のニーズ・意向に合わせた社会資源の調整と関係者・関係機関の連携が説明できる。 7. 健康の増進を支援する地域組織活動の育成支援の方法を説明できる。 8. 地区の住民や組織と協働して地区住民への支援の過程を説明できる。 9. 地区における地区組織や関係機関との連携・協働の方法を説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：トクタヴェール講義室2

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
6/11 水 1限	【授業内容】地区活動の目的と過程 ・生活の場としての地区／小地域の情報収集・アセスメントの視点を説明できる ・地区活動におけるPDCAサイクルの展開過程を説明できる ・地区管理の意義と留意点を説明できる ・地区で支援を必要とする対象者を列举できる(グループワーク) 【関連するSBO】1、2、3 【事前学修210分】実習地域の地区特性を社会資源マップにまとめ、講義時に持参する 【事後学修：90分】社会資源マップに不足な点を加筆し提出する	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

6/11 水 3限	【授業内容】地区への支援と協働活動：地区組織との協働（シルバーリハビリ体操指導者の活動） ・地域組織の活動経過から、メンバーの役割や活動への思いを把握する ・地区・組織支援活動の実際を通して、地区・組織活動で保健師が担う役割を説明できる 【関連するSBO】7、8 【事前学修：90分】シルバーリハビリ体操の特徴・指導者の養成システム、実施場所を調べ、要点を整理するとともに、疑問を明確にする 【事後学修：120分】シルバーリハビリ体操指導者の組織化の過程と、地区組織との協働について要点を整理し、地区での更なる活動展開を考える	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教
6/11 水 4限	【授業内容】地区／小地域における連携・協働 ・地区活動のためのアセスメントと地区支援計画について説明できる ・地区の住民や組織と協働して地区住民への支援過程における保健師の役割を説明できる ・地区における地区組織や関係機関との連携・協働によるネットワークづくりの方法を説明できる 【関連するSBO】8、9 【事前学修：90分】今までの講義を振り返りテキストや関連資料を読み、要点を整理するとともに、関連情報を収集し、疑問を明確にする 【事後学修：120分】講義内容を振り返り、予習で整理した要点に追記、実習で確認してくることを明確にする	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教
6/16 月 1限	【授業内容】個別事例から地区活動の展開（乳幼児健診におけるアセスメント） ・乳幼児健診における個人および家族に対して適切なアセスメントを行うことができる ・アセスメントの結果を基に、個別支援の方法を検討できる ・個別の健康課題の解決に向け、地区の社会資源の活用方法が理解できる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：90分】3年次に履修した「対象別健康支援論」の乳幼児健診の内容を復習する 【事後学修：120分】乳幼児健診における個人と家族のアセスメントの要点をまとめる	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
6/16 月 2限	【授業内容】個別事例からグループ・地区組織への展開（特定保健指導：ロールプレイ） ・継続的な支援を必要とする個人に対する支援計画を立案し、ロールプレイを実施できる ・住民組織と協働しながら生活習慣病予防対策を企画・実施する支援方法を検討できる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：90分】事例の健康上の課題を考え、保健指導の内容を考えてくる 【事後学修：120分】特定保健指導を個人および家族へ実施する際の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
6/18 水 3限	【授業内容】個別事例から社会資源の調整と連携への展開（乳幼児健診：ロールプレイ） ・ロールプレイを通して、対象児と家族の健康課題を把握することができる ・家族からの相談や不安・悩みを聞き取り、問題となっていることを解決する方法を家族とともに考えることができる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：90分】子育て支援に関する地域の社会資源を復習する 【事後学修：180分】事例のアセスメント結果と支援計画をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
6/30 月 1限	【授業内容】個別事例と地区活動：複雑困難事例の支援過程（児童虐待） ・継続的な支援を必要とする個人に対する支援計画を立案し、ロールプレイを実施できる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：90分】3年次に履修した健康危機管理論の「児童福祉部門における保健師の役割」の内容を復習する。 【事後学修：120分】児童虐待防止に向けた個人への支援と地域での取り組みについて考察し、まとめる（要提出）	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
6/30 月 2限	【授業内容】個別事例と地区活動 ・対象者の生活能力・生活上の問題・背景要因をアセスメントできる ・対象者・家族を支えるフォーマル・インフォーマルな機関と協働における役割を説明できる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事後学修：120分】病気や障害の有無にかかわらず、全ての人が自分らしく、充実した生活を送れるための関係者・住民との協働の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版	標 美奈子 他	医学書院	2022
教	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第5版	中谷 芳美 他	医学書院	2024
参	公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術第2版	佐伯和子編	医歯薬出版	2022
参	これからの保健医療福祉行政論 第3版	星 旦二 他編	日本看護協会出版会	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験80%、提出課題20%で評価する。
【形成的評価】適宜、レスポンスカードの提出を求め、学習の成果を確認する。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。 ・レスポンスカード、グループでディスカッションした内容については、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 保健師(別表1):公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 地域における保健師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義時資料投影
演習	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義用資料投影